

<先週の説教から>

『創立記念礼拝—わたしのもとに来なさい』

飯田 仰 牧師

イザヤ 55:1~7 ヨハネ福音書 4:7-15

「渇きを覚えている者は皆、水のところに来るがよい。銀を持たない者も来るがよい。穀物を求めて、食べよ。来て、銀を払うことなく穀物を求め/価を払うことなく、ぶどう酒と乳を得よ。」(イザヤ書 55:1)。主なる神はこのように語り、全ての人がご自身のもとへと招かれます。これは驚くべき知らせです。何も持っていないでもよい、とにかく来なさい。あなたはウェルカムなのだということです。そしてただ来るだけではなく、食べて、飲んで、享受せよということです。わたしたちが驚かされるのも無理はありません。

一方で、わたしたちの中には二節で描かれているような人たちもいるかもしれません。この人たちもウェルカムです。自分で金を払い、労することのできる人たちです。この人たちにも来なさいと主はおっしゃいます。ただ、この人たちはまだ本当の意味で「生かされる」ということを理解していない人たちと言えます。主なる神のもとに来て聞き従い、良いものを食べなさい、そうすれば「あなたたちの魂はその豊かさを楽しむ」(55:2)と神はおっしゃいます。

更に六節でも繰り返し述べられます。「主を尋ね求めよ、見いだしうるときに。呼び求めよ、近くにいますうちに。」そして七節の後半でこう言います。「主に立ち帰るならば、主は憐れんでくださる。わたしたちの神に立ち帰るならば/豊かに赦してくださる。」主のもとに来るならば、あなたに必要なものが与えられ、満たされ、生きるということです。なぜなら、このお方はあなたを豊かに赦してくださるからだというのです。

あなたは赦されている存在です。聖書の言葉を通して神はそう語られています。あなたはこのお方によって造られ、愛され、そして赦されている。そのための扉はもう既に開かれて、あなたの眼前にあるのだと。主イエスの十字架と復活の出来事によってそれが実現しているのです。

ただ、そこに入るためには一つだけ求められていることがあります。それが七節に記されています。「神に逆らう者はその道を離れ/悪を行う者はそのたくらみを捨てよ」と。わたしたちの想いの中に存在する、わたしは大丈夫という何の根拠もな

い、自分の立場の合理的防御とでも言えるような確信を捨てない限り、決してこの道に入ることはできないということです。このような確信を捨てることによって、わたしたちは主なる神が与えてくださろうとしている赦しと豊かさ喜びをいただくことができるのだということです。とはいえ、わたしたちの眼前に展開される世界は多くの痛みと悲しみに包まれています。だからこそ、わたしたちにとって主に立ち帰る場が礼拝の場です。この礼拝の場こそ、主がわたしたちと出会ってくださるのです。まことの命を注いでくださるのです。この福音を教会は64年間語り続けてきました。多くの方が上尾合同教会を通してこのお方のもとに立ち帰り続けてきました。これからも教会の営みと働きは続きます。全ての人への証人として用いられます。このお方のこの愛と恵みを教会の新しい歩みの中で益々実践していきたいと祈ります。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 7月24日(水) 20:00
II. 7月25日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答

祈祷主題: ダビデ会を覚えて

担当者: (水) 三箇 (木) 松山

祈りに覚える人: 岩井さん 岩佐さん

ひつじ雲の会: 7月27日(火) 10:00~

【教勢報告】

主日礼拝 男20 女52 計72

祈祷会 I. 男6 女1 計7 II. 男1 女8 計9

日曜学校 幼稚科0 小中科6 計6

ハンナの会<7月16日(火)> 男2 女5 計7

【次週主日礼拝】 7月28日(日)

聖書: 詩編 45:1~18

ヘブライ人の手紙 1:8~14

説教: 「詩編④ — 愛の歌」

讃美歌: 7(1)、32、127、446、573、
24(1)

【次週当番表】

司式: 飯田長老 奏楽: 勝村 礼拝: 茨木長老

献金: 三箇 受付: 金刺 坂田

会堂準備: 大野 勝村 黒澤 鶴巻

西尾

看板: 中村 週報: 飯島 お花: 飯島

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会

・礼拝/伝道/牧会/社会/教育 各委員会

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2024年 7月 21日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>